

〔 名前 〕 金重 利典

〔 職位 〕 講師

〔 保有学位 〕 博士（教育学）

〔 担当科目 〕 幼児と人間関係 赤ちゃんの発達心理学
前期乳児の発達心理学 乳児保育研究法 I
総合演習基礎演習 I 保育実践学習 I・II 卒業論文 II
保育研究調査法 I

〔 専門分野 〕 発達心理学
感情心理学

〔 学外活動 〕 日本心理学会会員
日本発達心理学会会員

〔 主な教育・研究業績 〕

〈著書〉

秋田喜代美（監修）『保育学用語辞典』中央法規 2019 年（学びの基礎、基本的認知能力、発達研究のアプローチ担当）

〈査読付き論文〉

金重利典（2020）. 表情理解研究の現状と課題—発達的な視点からの検討—, 心理学評論, 63(2), pp.148-166.

Kaneshige T, Haryu E (2017) Infants predict expressers' cooperative behavior through facial expressions. PLoS ONE 12(10): e0185840. <https://doi.org/10.1371/journal.pone.0185840>

Kaneshige T, Haryu E (2015) Categorization and understanding of facial expressions in 4-month-old infant, Japanese Psychological Research, 57(2), pp.20-30.

〈査読なし論文〉

金重利典・針生悦子・奥村優子・小林哲生 (2019). 3-5歳児は出身地の方言話者から学ぼうとするか？—東京方言と岡山方言の比較—, 電子情報通信学会技術研究報告, 118(437), pp77-82.

金重利典 (2017). 標準的な社会情緒的コンピテンス 遠藤利彦（編）平成 27 年度プロジェクト研究報告書「非認知的（社会情緒的）能力の発達と科学的検討主法についての研究に関する報告書」, 文部科学省初等中等教育-031, pp31-43.

（他 3 件）

〈学会発表〉

Kaneshige, T., Haryu, E., Okumura, Y., & Kobayashi, T. (2021). Children's trust in individuals who speak in a familiar regional accent and those who speak in the standard accent used on TV. BCCCD2020+, Virtual.

金重利典 (2020). 保育の「質」を測定するアンケート項目の選定—保育士の自己報告によるポジティブな養育尺度の開発検討—, 日本保育学会第 73 回大会, 奈良教育大学

Kaneshige, T., Haryu, E., Hamana, M., Ikeda, S., & Huang, J. (2019). Infants use emotional expressions observed in one situation to predict the expresser's behavior in another. Society for Research in Child Development 2019 Biennial Meeting, Baltimore, USA

篠原郁子・金重利典・石橋美香子・小山悠里 (2019). 母親のアタッチメントの内的作業モデルと乳児の社会的発達, 日本心理学会第 83 回大会 3D-67, 立命館大学

篠原郁子・金重利典・石橋美香子・小山悠里 (2018). 母親の精神的健康状態と乳児の表情選択: 母親の育児ストレスと不安の検討, 赤ちゃん学会第 18 回学術集会 P-114, 東京大学

Kaneshige, T. & Haryu, E. (2016). Infants use facial expressions to predict the expresser's cooperative behavior. XXth Biennial International Conference on Infant Studies, New Orleans, USA

(他 8 件)

〈その他〉

日本心理学会 2015 年度優秀論文賞受賞